

東日本大震災の実情や教訓を伝承する施設を「震災伝承施設」と位置づけ、同施設を募集。

募集した施設は、今後、震災伝承ネットワーク協議会が施設の分類を行い、「震災伝承施設」として登録・公表予定。

■募集対象：東日本大震災に関わる遺構、慰霊碑、モニュメント等の施設

■募集期間：第一次募集 平成30年12月3日～平成31年1月31日

■応募状況（平成31年1月17日現在）

青森県： 1件（他薦1件）

岩手県： 54件（他薦41件、応募準備中13件）

宮城県： 21件（自薦11件、他薦5件、応募準備中5件）

福島県： 21件（自薦2件、応募準備中19件）

合 計： 97件（自薦13件、他薦47件、応募準備中37件）

# 応募、応募調整中の主な施設の紹介

## 震災遺構 たろう観光ホテル(岩手県宮古市)



出典:三陸ジオパークHP

4階まで浸水、2階までは柱を残し流失。  
館内では、震災当日に同ホテルで撮影された津波の映像も視聴可能。

あらはま

## 震災遺構 仙台市立荒浜小学校(宮城県仙台市)



出典:仙台市HP

<1階廊下>



震災当時は、児童や教職員、住民ら320人が避難し、2階まで浸水。  
防災・減災の取り組み、模型などによる震災前の町並みも体験可能。

## 震災遺構 奇跡の一本松(岩手県陸前高田市)



<震災前の高田松原>



「名勝 高田松原」は、江戸時代(約350年前)から白砂青松の景観。(約7万本の松林)  
大津波に唯一耐え残った松が「奇跡の一本松」として復興のシンボルに。

りょういし

## 津波の石碑(岩手県釜石市両石町)



<東日本大震災では  
ガレキに埋もれる>



津波の惨禍を繰り返さないために先人が残したメッセージ(石碑)  
中央と右側の2基は明治29年、左の1基は昭和8年の碑。